

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

2022年5月13日

各 位

株式会社T & Dホールディングス
代表取締役社長 上原 弘久
(コード番号：8795 東証プライム)

米国関連会社における評価性損失の計上に関するお知らせ

T & D保険グループの株式会社T & Dホールディングス(社長 上原 弘久、以下「当社」)は、2023年3月期第1四半期決算(2022年4月1日～2022年6月30日)において、下記のとおり米国関連会社における評価性損失を計上する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 米国関連会社における評価性損失の内容

当社持分法適用関連会社であるFGH Parent, L. P. (以下「フォーティテュード社」)の第1四半期会計期間(2022年1月1日～2022年3月31日)において、主に米国金利上昇等に伴い会計上の一時的な評価性損失を計上する見込みとなりました。当社の第1四半期連結会計期間(2022年4月1日～2022年6月30日)において、この評価性損失を含め同社にかかる持分法による投資損失として910億円程度を計上する見込みとなります*。

なお、当社グループではグループの経営実態を表す指標の一つとして、このような市場の変動により会計上生じる一時的な評価性損益等を一部調整した「グループ修正利益」を導入しております。

フォーティテュード社にかかるグループ修正利益相当額として、当社の第1四半期連結会計期間において50億円程度の利益を計上する見込みであり、同社にかかる四半期想定に対し概ね順調な進捗となっております。

*フォーティテュード社の決算日は12月末であり、同社の第1四半期会計期間(2022年1月1日～2022年3月31日)の損益は、当社第1四半期決算(2022年4月1日～2022年6月30日)に反映されます。

2. 2023年3月期業績予想への影響

本日公表しております2023年3月期業績予想には、2022年3月末の金利環境等が継続する前提で、上記の一時的な評価性損失の発生を反映して算出しております。

以 上

【お問合せ先】

株式会社T & Dホールディングス 広報課 加藤・山本
(TEL : 03-3272-6115 / メールアドレス : tdhd.kouhou@td-holdings.co.jp)